



剪紙(中国の切り絵)

人生感悟

逝去的岁月渐渐退
缩为历史的镜像，在所
有流淌过的岁月里，失
落与希望同在，历史又

翻过了厚重的一页，这一切已成为昨天的
迷茫……。

“小日本”一直是我几十年的一个符
号。文革中，我是在看不见的绳索的羁绊
下生存着，我的行为超越了这些绳索限定
的范围时就缩手缩脚，不敢越雷池一步，
时至今日那些挥之不去的记忆总会魂牵
梦绕，让那些难以牵制的苦涩在理解中沉
淀吧。

とうこう 投稿

じんせい おも 人生に思うこと

過ぎ去った歲月は次第に遠のいて、歴史となっ
てしまった。流れ去った月日のうちには、失望もあつたし、
希望もあつたが、いま、歴史の重く分厚い一ページは
めくられ、すべては、過去の悲しいできごと……。

「小日本」、これは数十年間ずっと私を指す符
号だった。文革の間、私は目には見えない縄に拘束
されて暮らしていた。その縄で囲われた領域を越える
と、とたんに私は臆病になってしまい、一步を踏み出
す勇氣を持てなかった。今、あの頃はどんなに振り払
ってもつきまとった記憶が、日夜思い出される。それら
のどうしようもない辛さを、できれば達観という淵に
沈めたいものだ。



在中国我有一个幸福的家庭。我在医院工作，爱人是工厂的厂长，幸福是一种心灵的相守，执子之手白头偕老。然而，中年时我的人生却遭遇了冰点。我爱人去局里开会，在返回的路上遭遇车祸……。



我们只有山盟海誓的开始，而无与之偕老的唯美。我无法拷贝他的迷人学识，无法复制他的谨言慎行，这段刻骨铭心的经历在我的心里留下了永远都不能痊愈的伤痕。

过年时万家灯火没有一盏为我点亮，但我从不顾影自怜，眼泪被岁月蒸发，从人间无奈回到彻底的宁静，有一点孤独更有一份坚定，岁月的沉淀让我承载的太多，我把孩子培养到大学毕业，现就职于一家日本会社。

我浪迹天涯，把回归故里当成新一轮生命的开始，在风烛残年时回到了日本。人生最曼妙的风景就是内心的淡定，只要心态年轻年龄不过是个数字，可是现实很骨感，回来后语言障碍使得酷爱文学的我，仿佛到了一个另类世界，只有用语言才能去倾汇自己生命轨迹所证，而现在，所有的语言都失去了从容，本来是回归故里，却有一种独在异乡为异客的感觉。我要呐喊出心底最简单的渴望，去参加各种活动，但是语言障碍这堵墙如何穿越呢？只有学好日语才能丰富自己的内在学识，才能在现实的空间里寻找自我，照顾孙子的历史使命完成后，我便踏入了中国归国者交流中心学习日语。

ちゅうごく わたし こうふく かてい も びょういんづと
 中国で私は幸福な家庭を持った。私は病院勤めで
 あつと こうじょうちやう こころ ささ たが て
 夫は工場長だった。幸福を心の支えとして、互いに手を
 と あ ろうご むか ちやうねん
 取り合って老後を迎えるはずだった。ところが中年になっ
 とつぜん ひげき みま あつと しょうぶきかん かいぎ
 て、突然の悲劇に見舞われた。夫が上部機関の会議に
 しゅっせき もと とちやう こうつうじこ あ
 出席して戻る途中、交通事故に遭ったのだ……。

ふうふ ちが ちやうねん
 よき夫婦となることを互いに誓ったというのに、老年を
 とも す しあわ おとず くれ りっぱ けんぎ
 共に過ごす幸せは訪れなかった。私は彼の立派な見識を
 まね つつし ぶか ひ ま
 真似ることも、彼の懐み深い振り舞いを真似ることもでき
 ほねみ きざ たいけん い
 なくなり、骨身に刻まれたこの辛い体験は、私の心に癒える
 きず のこ
 ことのない傷を残した。

しょうがつ むか いえ あ とも わ や
 正月を迎えると、どの家も明かりを灯すが、我が家に明
 かりを灯してくれる人はいなかった。けれど、わが身を憐れん
 だことは一度もない。涙は歳月とともに乾き、私は人の世
 おじょう た なお かんべき へいせい せいかつ もと
 の無常から立ち直って、なんとか完璧に平静な生活に戻
 った。孤独な思いは残っているものの、毅然とした気持ちもこ
 こどく おも きぜん きも
 みあげてきた。一日一日と日は過ぎ、果たさねばならないこ
 ともたくさんあった。私は子どもを大学卒業まで育てあげ
 た。今は日本の会社に勤めている。

ね くさ い ここく かえ あら
 根なし草のように生きてきた私は、故国に帰ることを新た
 なしゅつぽつてん かんが じんせい すく
 な出発点にしようと考え、人生も残り少なくなってから日
 本に来た。心が落ち着いてさえいれば、すべてが美しく見え
 るはずだった。気持ちが若ければ年齢はただの数字にすぎ
 ないと思っていた。しかし現実には厳しかった。帰国後、言葉の
 かわ しよもつ よ ぶんがく ねつあい
 壁によって書物を読むことができず、文学を熱愛する私は、
 べっせかい ほん ほん
 まるで別世界にいるようだった。言葉があつて初めて自分の
 じんせい きせき しめ
 人生の軌跡を示すことができる。それなのに今、すべての言
 うしな もと ひとりいきやう
 葉が失われてしまった。故国に戻ったというのに、一人異郷
 きやくじん ないしん かんたん
 に客人として居るような気持ちだった。内心のごく簡単な
 ねが こえ だ いろいろ かつどう さんか
 願いを声に出したいと思って、色々な活動に参加した。それ
 のこ
 にしても、言葉の壁はどうやって乗り越えればいいのか？
 にほんご ますたー ちしき ゆた
 日本語をしっかりとマスターすることで、自分の知識を豊か
 にしたり、現実の世界で自分の居場所を見つけたりすることは
 いばしょ
 できないと思った。そこで私は孫の世話という使命を終える
 まご せわ しめい お
 と、中国帰国者支援・交流センターで日本語の勉強を
 ちゅうごくきこくしやしえん こうりくせんたー べんきやう
 はじ
 始めた。

因为语言是由单词组成，所以做了单词卡片，在地铁里在做饭的空间里，只要方便我就强化记忆，孙子的国语课本，交流中心的天天好日，电视里的手话新闻，电视里的外语讲座，都是我的日语教材，2015 年我参加了东京中央狮子会举办的中国归国者日本語发表会，当听到台下热烈的掌声，当从会长手中接过奖品奖状时，内心已是铁马冰河般的汹涌，这就是我 70 岁的人生况味，也是我今生的最后一枚奖赏，弥足珍贵。

虽然在工作中使用过电脑，但范围很局限。我还是在交流中心学习了几个电脑班，电脑是知识的海洋，可以从中捕捉到当今一切有价值的信息，通过视频拉近了朋友间的距离，当然近期智能手机更便利。我爱独处，每天浏览在我自己喜欢的世界里来品味日本精致细腻和一丝不苟的文化。

理解是人际关系中不可缺少的聚合剂，在与大家的交往中使我感到，理解在交流中点燃了和谐，和谐在交流中引发了彼此间情感的随意。

人生的单程车开到这里时，我不由的有了一种洗刷了偏激的淡漠，一种并不陡峭的高度，我想新往来自异，只有求异生命的源泉才永不枯竭。

我们已到了耄耋之年，大家各自保重！生命的价值是由健康来承载的，不仅要有长度也要有宽度。夕阳无限好，只是近黄昏。无论是朝阳还是晚霞，只要有霞光就是美丽的。朋友们，让我们伴着和谐的音符，踏着自己的舞点与生活共舞吧！！

言葉は単語から成っている。そこで私は単語カードを作り、地下鉄に乗っている時や食事の支度の合間に、懸命に覚えた。孫の国語の教科書や、センターの「天天好日」や、テレビの手話ニュース、外国語講座がすべて私の日本語学習の教材になった。そして 2015 年、私は東京セントラルライオンズクラブが開催する中国帰国者日本語発表会に参加した。聴衆の熱烈な拍手を受け、会長の手から賞状と賞品を受け取った時、私の心は、凍った川を鉄の馬が氷をかき割って進むかのよう、高揚した。それは私の 70 年の人生で最後のご褒美で、十分にありがたかった。

かつて仕事でパソコンを使ったことはあるが、範囲は限られていた。そこで私はセンターのパソコンクラスを受講した。パソコンは知識の海で、今の時代に価値ある情報を何でも得ることができる。ビデオ通話は友人との距離を縮めてくれた。もちろん最近のスマートフォンはさらに便利だ。私は一人であることが好きで、毎日ネットでざっと調べて出かけて行き、日本の精巧で丁寧な文化に触れて楽しんでいる。

互いを知るといことは、人間関係において欠かすことのできない接着剤だ。私はセンターで学ぶ人たちとの付き合いの中で、わかり合うことが、和やかな雰囲気を生み、互いの気持ちを自由に引き出せることを知った。片道切符の人生をここまで歩んで来て、いつの間にか人付き合いを極端に避ける傾向は薄れ、ある種の穏やかさを身に着けた。新しいものはマンネリからは生まれない。新しいことを始めてこそ、命の泉は涸れることがないと思う。

私たちは年老いた。みなさん、お互いに体を大切にしよう！命の価値は健康に支えられている。人生は長さだけでなく広がりも必要だ。黄昏は近いけれど、夕日は無限に美しい。朝日も夕焼けも、光があればこそ輝く。みなさん、調和という音符に合わせて、それぞれのリズムで、ともに人生を舞おうではないか！

